

月刊「不動産流通」2014年8月号（No.387）特集記事に株式会社インターメディア・アスカさんが紹介されました。

Real Estate Circulate and Trend Magazine

月刊不動産流通

第33巻第2号（通巻387号） 平成26年8月5日発行（毎月1回5日発行） ISSN 0296-388X

8 No.387 August 2014

【編集部レポート】賃貸住宅の新潮流！

「カスタマイズ」 「DIY」



【特集】ヒヤリ! ゾ〜ッ 今だから話せる
私の大ピンチ

特集

ヒヤリ! ゾ〜ッ
今だから話せる

私の大ピンチ



今だから笑って話せる失敗談や、思い出しただけで冷や汗が出てくる出来事など、誰もが経験あるはず。夏だから! というわけではないですが、業界で活躍する方々のそんな体験談を集めてみました。失敗して心が折れそうな時にも、これを読めば、「よし、頑張ろう」と再び力が湧いてくるのでは。



株式会社
インターメディア・アスカ
（名古屋市千種区）
代表取締役
中川 清子 氏
売買・賃貸仲介

「なあ〜んだ! 姐さん(ねえさん)が絡んでいたんですかあ〜!」と急に笑顔になり態度が一変。「エッ? 私? 姐さん? 冗談でしょ!」とニガ笑い。何とか誤解していたらしいことも分かり、2人の社長が無事解放されて、ヤラレ!と思った一件でした。

怒鳴っているのは、後姿からも反社勢力風と分かる男性、サンマのようにとがった真つ白なエナメルの靴に、白いタボツとしたスーツ、ズボンのウエストを目一杯上へあげたスタイル。しかしよく見るとどこかで見かけた覚えがあるような…。と思った途端、当人が後ろを振り向き、その顔を見ればついこの間、仕事で関わったばかりのおじさんでした。

ある日、共同仲介業者から切羽詰まった声で「今すぐ来て欲しい」と突然の電話が! 「何事だろう?」と、とあるワンルームマンションの1室に駆け付けてみると、閉じ込められた2人の仲介業者が誰かに怒鳴られ、震えんばかりにおびえている様子。

いわゆる反社会的勢力らしき面々が活躍していた、バブルと言われた時代の話です。当時、当社を含めた3社の共同仲介で、名古屋中心地の35億円の売地の話をまとめようとしていました。

共同仲介業者から
突然のSOS!
反社勢力風の
同業者に絡まれた